

第28回  
横浜環境活動賞  
事例集



横浜市環境創造局

# 横浜環境活動賞とは

## 1 概要

横浜環境活動賞は、地域で様々な環境活動を積極的に行っている市民（個人・団体）、企業、児童・生徒・学生の皆様を表彰する制度です。環境の保全・再生・創造に対する関心をより一層高めていただくとともに、地域の環境活動を推進し、環境にやさしいまちづくりを進めることを目的に平成5年度に創設されました。

## 2 表彰内容

### (1) 部門

「市民の部」「企業の部」「児童・生徒・学生の部」

### (2) 表彰の種類

大賞	各部門からそれぞれ1者を表彰
実践賞	大賞以外の受賞者
生物多様性特別賞	全応募者から生物多様性の保全・再生・創造に特に貢献している1者を選考

## 3 第28回受賞者一覧（全15者）

（敬称略・五十音順）

### 市民の部（7団体）

**大賞** 横浜植物会  
**実践賞** 旭北地区連合自治会 中堀川いこいの場づくり  
美しが丘中部自治会 アセス委員会 遊歩道ワーキンググループ 100段階プロジェクト  
NPO法人 H&K 「小松菜プロジェクト活動」  
初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会  
ほどがや産直便  
ボランティア大鳥

### 企業の部（5社）

**大賞** 有限会社マルニ商店  
**実践賞** 株式会社エナ・ストーン  
株式会社 JVC ケンウッド  
武松商事株式会社  
東京レーダー株式会社・本社工場

### 児童・生徒・学生の部（3団体）

**大賞** 横浜市立永田台小学校  
**実践賞** 横浜市立市ケ尾中学校  
横浜市立折本小学校

### 生物多様性特別賞（1団体）

横浜植物会 ※市民の部大賞と同時受賞

## 市民の部 大賞／生物多様性特別賞

### 横浜植物会

#### 【団体概要】

- ◆活動地域：横浜市全域及び神奈川県全域
- ◆会員数：178名（令和3年5月）
- ◆活動開始年：明治42年10月から

#### 【活動概要】

自然に親しみ、植物に関する研究を行い、植物や自然保護の思想普及をはかることを目的に、111年という長期にわたり活動を継続。植物相調査及びさく葉標本の作成を行い、成果の集大成として『横浜の植物 2020—横浜の植物（2003）補遺』を刊行。展示会や観察会などを休日に開催し、若年層が参加しやすい体制づくりも行う。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

この度は名誉ある大賞及び生物多様性特別賞を受賞し、会員一同大変喜んでいました。この1年間は新型コロナの影響で十分な活動ができませんでした。この受賞を励みに、先人の事績に学び、今後も自然の営みを見つめ、横浜の植物を記録し続ける活動を続けていきたいと思っています。



横浜の植物・調査風景 泉区下飯田町「県立境川遊水地公園」令和3年3月31日



企画展「横浜植物会の歴史と横浜の植物 2019」  
横浜市こども植物園展示室  
令和2年9月1日～9月27日

## 市民の部 実践賞

### 旭北地区連合自治会 中堀川いこいの場づくり

#### 【団体概要】

- ◆活動地域：旭区
- ◆会員数：39名（令和3年5月）
- ◆活動開始年：平成30年4月から

#### 【活動概要】

中堀川プロムナードを地域の魅力あるいこいの場とするために、清掃・植栽や、児童の絵画展示など美化を行う。また、プロムナード沿いのせせらぎにホタルを復活させる活動も開始。近隣の企業や自治会町内会、小学校、水辺愛護会など多様な主体と連携し、幅広い世代へ環境活動の大切さを広めている。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

地域の皆様の長い間の尽力が評価されたものであり、関係の皆様にあらためて感謝します。令和2年度から取り組み始めた「地球温暖化対策」にもはずみがつきました。「中堀川いこいの場づくり」と「地球温暖化対策」に皆様と取り組み、旭区の「環境モデル地区」を目指していきたいと思っています。



プロムナード沿いのフェンスに地元小学校児童絵画の掲示作業を、会員皆で進めています。



今年度も育成した約130頭のゲンジボタルの幼虫をプロムナードせせらぎに放しました。（この後、ホタルは蛹になるため上陸し、羽化します。）

## 市民の部 実践賞

### 美しが丘中部自治会 アセス委員会

### 遊歩道ワーキンググループ 100 段階プロジェクト

#### 【団体概要】

- ◆活動地域：青葉区
- ◆会員数：14 名（令和 3 年 5 月）
- ◆活動開始年：平成 29 年 8 月から

#### 【活動概要】

多くの人々が楽しく歩ける道として再生し、地域資産とすることを目的に、まちの特徴でもある遊歩道をランドマークとし、遊歩道の整備活動を行う。良好な環境維持のため、現状を知るワーキングとして気温や湿度などをポイントごとに調べる環境調査や、鳥や昆虫など生物多様性の調査等を行う。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

コロナ禍による生活様式の変化は、これまで寝に帰るための場所だった郊外住宅地を、生活の場へと変えました。活動開始から 4 年、活動の理解者・協力者も増え、地域での認知度も安定したものになっています。受賞を機に、さらなる活動の展開を図っていきたくと思っています。



美しが丘小学校の通学路でもある 100 段階と太鼓橋は、毎日子供たちの元気な声が響く場所です。



日本野鳥の会から講師を招いてのトコロジスト講座。参加者数を制限したため動画配信も行っています。

## 市民の部 実践賞

### NPO 法人 H&K 「小松菜プロジェクト活動」

#### 【団体概要】

- ◆活動地域：都筑区を中心にした横浜市全域
- ◆会員数：10 名（令和 3 年 5 月）
- ◆活動開始年：平成 22 年 4 月から

#### 【活動概要】

「小松菜」をテーマに「食育」や「農業専用地域の環境保全・地産地消の大切さを伝える活動」を行う。

野菜の収穫体験では、農家と企業と地域を繋ぎ、料理講座などを通して多世代交流や健康づくりを行っている。多方面から地域社会の活性化に寄与する。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

“小松菜”テーマの「食育」や「農業専用地域の環境保全・地産地消」、農家と企業と地域を繋ぐ「野菜収穫体験」などが、多方面から地域社会の活性化に寄与する活動として評価され、今回の受賞となりました。これからも「都筑区の街づくり」のため、精進して参ります。引き続き御指導頂きますようお願い申し上げます。



地産地消活動 野菜の収穫体験  
農家×企業×市民との協働事業



地産地消と多文化交流  
NPO×NPO ×歴史的文化的財内の協働事業

## 市民の部 実践賞

### 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会

#### 【団体概要】

- ◆活動地域：中区
- ◆会員数：28名（令和3年5月）
- ◆活動開始年：平成15年11月から

#### 【活動概要】

生活環境改善を目的に毎月防犯パトロールを実施し、ごみ拾いも併せて取り組むことで地域住民の環境保全意識を高めている。また、地域の資源である日ノ出湧水の水を使い打ち水を行うことで温暖化対策に取り組み、子供たちの環境活動への参加につなげるきっかけをつくっている。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

地道に続けてきた活動を評価いただけたこと、誠に嬉しく思います。地域の「安全・安心のまちづくり」が環境活動にもつながることで、次の世代がより住みやすい社会になることを願っています。共に活動している地域の方々、協力くださる連携機関の皆様方にも感謝を申し上げます。



毎月27日の防犯パトロール（平成30年）



打ち水大作戦（平成30年）

## 市民の部 実践賞

### ほどがや産直便

#### 【団体概要】

- ◆活動地域：保土ヶ谷区
- ◆会員数：6名（令和3年5月）
- ◆活動開始年：平成21年7月から

#### 【活動概要】

保土ヶ谷区の都市農業の現状や地産地消について学ぶ講座の受講生が、地産地消と地域活性化を図るために立ち上げた団体。地元の直売所を案内する「ほどがや農産物直売所マップ」を作成し、区役所と協力して累計1万部以上発行。農家や飲食店などと協力し、住民が地場野菜を手に取り、地産地消を体験できる機会を創出している。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

日頃の活動が認められて、今回受賞したことは大変うれしく思います。これまで活動を継続できたのは、農家・企業・地域の方々の御協力のおかげです。これからも、ほどがや産野菜を通じて、地産地消の啓発や地域活性化に寄ることができるよう活動を続けて参ります。



区役所、農家さんと協力して開催している「まちなか農家さんのほどがや朝市」



毎週火曜日、まちなかの時計店、呉服屋さんなど（8か所）の店先で、ほどがや産野菜を販売する「朝市街道」

## ボランティア大鳥

### 【団体概要】

- ◆活動地域：中区
- ◆会員数：22名（令和3年5月）
- ◆活動開始年：平成12年1月から

### 【活動概要】

地域と学校のふれあいの窓口となり、活動をコーディネートすることを目的とした団体。児童・生徒・保護者とともに大掃除ボランティアの「クリーンアップ大鳥小」や、近隣の各学校からスタートし、本牧の町をごみ拾いしながら歩き本牧山頂公園を目指す「山頂公園クリーンアップラリー」など、美化活動を中心に22年継続している。

### 【横浜環境活動賞を受賞して】

コロナ禍において“ふれあう活動”は全くできず、空虚な一年を過ごす中、22年分の御褒美をいただいたようで、とてもうれしいです。この受賞をこれまでの全スタッフと、参加協力してくださった全ての皆さまに捧げ、これからも“明るく・楽しく・無理なく”歩んでいけたらと思います。



小学生から大人まで、協力しあってゴミ拾い



ゴールの本牧山頂公園には、300人以上が集まり、ゴミ拾い後のふれあいを楽しみます。

## 企業の部 大賞

### 有限会社マル二商店

#### 【企業概要】

- ◆所在地：西区
- ◆従業員数：54名（令和3年5月）
- ◆環境への取組開始：平成19年4月から

#### 【環境に関する主な取組】

持続可能な循環型社会づくりに貢献することを目指し、ガラスびん等のリサイクル事業を行う。小学校への出前講師を15年継続し、ガラスびん等のリサイクルに関する啓発活動を行う。小学生を対象とした環境教育プログラムは、低学年・中学年・高学年と年代に応じて実施するなど、成長度合いに合わせたアプローチを意識した教育活動を行っている。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

弊社は、これまでリサイクルを通じて社会に貢献できる企業づくりを推進して参りました。子供たちとともに環境について学ぶプログラム等、本業と違うチャンネルにおいてもアプローチしてまいりました。このように高く評価していただいたことに感謝し、大きな励みにして参ります。



リサイクルの現場を体験する「しごと体験」



ガラスびん入りオリジナルサイダーを商品企画、販売することで、新たな環境意識を醸成

## 企業の部 実践賞

### 株式会社エナ・ストーン

#### 【企業概要】

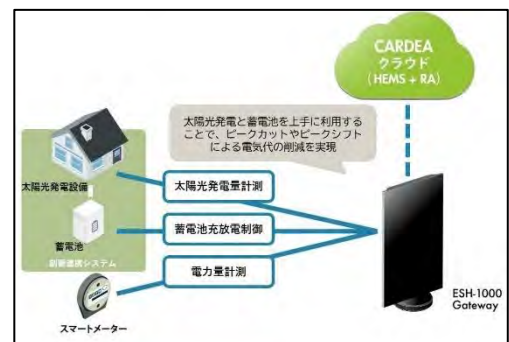
- ◆所在地：港北区
- ◆従業員数：3名（令和3年5月）
- ◆環境への取組開始：平成28年11月から

#### 【環境に関する主な取組】

エネルギー問題、地球温暖化などの諸問題を解決し、より豊かな社会の実現を目指し、EMS（エネルギーマネジメントシステム）により利用者に省エネを働きかけ、CO<sub>2</sub>削減へとつなげている。また、家庭用見守りロボットでは、センサーによる室内環境の自動制御など省エネに貢献するシステムの開発を行う。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

この度は、第28回横浜環境活動賞 実践賞を賜りましたこと、誠にありがとうございます。弊社はエネルギーマネジメントシステムの開発とその利用機会の拡大に寄与することで、省エネを促す事業活動を行って参りました。今後も環境に配慮した取組を推進して参ります。



EMSで蓄電池や太陽光発電設備を統合的に管理し、エネルギーを無駄なく効率的に活用します。



EMSを導入したこの商業施設では、年間90t（試算）のCO<sub>2</sub>削減を実現します。

## 企業の部 実践賞

### 株式会社 JVC ケンウッド

#### 【企業概要】

- ◆所在地：神奈川県、緑区
- ◆従業員数：16,956名（令和3年3月）
- ◆環境への取組開始：平成20年10月から

#### 【環境に関する主な取組】

環境負荷低減により社会に貢献するという環境ビジョンのもと、製品やサービスの創造及び環境活動を通じて地球環境が保全され、持続可能な社会の実現に貢献する事を目指す。具体的には、CO<sub>2</sub>排出量削減、産業廃棄物の分別徹底や廃プラスチック圧縮、食品廃棄物削減など様々な活動に取り組む。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

当社は、企業ビジョン「感動と安心を世界の人々へ」のもと、事業を通じてさまざまな社会課題の解決に貢献することが経営の最重要課題と捉えています。全てのステークホルダーの期待に応え、誰もが安心・安全な暮らしが送れる社会の実現の一助となるべく、事業とサステナビリティの両輪による経営を推進します。



横浜事業所内にあるクリーンセンター外観



**JK Sustainability**

当社サステナビリティマーク  
(サステナビリティの一部として環境活動を推進)

## 企業の部 実践賞

### 武松商事株式会社

#### 【企業概要】

- ◆所在地：中区
- ◆従業員数：229名（令和3年5月）
- ◆環境への取組開始：平成18年1月から

#### 【環境に関する主な取組】

リサイクル、リユース等、資源の有効活用に積極的に取り組み、環境への負荷軽減、ごみの減量化を推進。分別対応できるように多種多様な車両を抱え、分別専用ごみ袋の開発・投入も行う。15年通算150回を超える地域清掃活動はもとよりアップサイクルのワークショップを社内外で開催し、子供たちや学生、市民を対象にした環境啓発活動にも力を入れている。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

環境活動は多岐にわたり多くの企業・団体の皆様が精力的に取り組んでいらっしゃる中で名誉ある賞を頂戴し光栄に存じます。今後も活動の質を高め、活動の量を増やし地域密着型企業として“ヨコハマ”に貢献し、当社のスローガンである“いい循環が生まれる その真ん中”の企業を目指します。



リユース事業拠点「エコクルファクトリー」  
年間250tを超えるリユース品を市場に還元



アップサイクル・ワークショップで不用素材から新たな作品を作り出そうとする子供たち



## 東京レーダー株式会社・本社工場

### 【企業概要】

- ◆所在地：保土ヶ谷区
- ◆従業員数：120名（令和3年5月）
- ◆環境への取組開始：平成16年9月から

### 【環境に関する主な取組】

省エネ通信機開発や無給電通行検出マットの実用化など、環境に配慮した製品開発を行い、環境に優しいものづくりを実施。通信機製造の過程で使用する機器を硬化炉から小さなオープンへの変更という社員の独創的なアイデアを生かすなど、社員一人ひとりが自分の担当業務で「環境に優しいこと」を考え行動している。清掃活動も定期的に行い、周辺地域へ貢献している。

### 【横浜環境活動賞を受賞して】

当社は「かけがえのない地球を子供達へ」を合言葉に、環境に優しい会社を目指してきました。その結果、横浜環境活動賞という御褒美をいただき、社員一同感激しています。今後も企業市民として受賞に恥じないよう、SDGsの取組も加え、更なる高みを目指し励みます。



次世代を担う子供たちに、ものづくりの面白さを知ってもらう目的で夏休み工作教室を開催しています



定期的に最寄り駅と会社間の通勤路清掃を行っています。プラスチックごみの削減意識が高まります。

## 児童・生徒・学生の部 大賞

### 横浜市立永田台小学校

#### 【団体概要】

- ◆所在区：南区
- ◆児童数：406名（令和3年5月）
- ◆活動開始年：平成22年4月から

#### 【活動概要】

地域の協力を得ながら行う米作りを通して自然との共生について考えたり、校内ビオトープや公園の木々の保全などにかかわりながら様々な視点で自分たちの生活とSDGsのつながりに目を向けたりしている。環境に配慮した生活を意識する児童も増え、自分たちの取組をエコプロで大人の来場者に向けて発表するなど、地域と一体となって積極的に活動している。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

受賞にあたり、本校の教育活動にご尽力くださった「ふるさと創生の会」をはじめとする地域の方々に感謝申し上げます。子供たちの学びは、学校へ、家庭へ、地域へと広がっています。そして世界へと想いをはせています。「自分たちにできることはないか？」を問い続け考え続け、行動する姿は頼もしいです。



「ふるさと創生の会」の方に教えてもらいながら熱心に田植えをする子供たち。



地球規模課題に対する自分の行動や考えを、大人に声をかけ、伝えている。(エコプロ2019)

## 児童・生徒・学生の部 実践賞

### 横浜市立市ヶ尾中学校

#### 【団体概要】

- ◆所在区：青葉区
- ◆生徒数：570名（令和3年5月）
- ◆活動開始年：平成29年5月から

#### 【活動概要】

課題解決につながる新しい価値観や考えを生徒会を中心に、行動を起こし広め、学校全体の取組へと拡大。生徒会で海洋プラスチック問題の勉強会を行い、全校での学習を進めた。中学生にできることとしてレジ袋削減を取り上げ、学校オリジナルマイバッグを作成し、全校生徒に配付。町内会等で取組を紹介し、趣旨に賛同した人への販売を行うなど、地域への広がりにも取り組む。

#### 【横浜環境活動賞を受賞して】

今まで活動してきたことが認められたことをとても光栄に思います。長年取り組んできた取組が形となったマイバッグを持ち歩いている人を地域で見かけると、活動した甲斐を感じます。今後も環境問題に取り組んできた先輩方の思いを引き継ぎ、自分たちができることを実行していきます。(生徒会本部役員3年)



区役所で開催された親子対象環境講演会で販売



生徒発案によるオリジナルマイバッグ

## 横浜市立折本小学校

### 【団体概要】

- ◆所在区：都筑区
- ◆児童数：688名（令和3年5月）
- ◆活動開始年：平成27年4月から

### 【活動概要】

36年継続している全校児童による花いっぱい運動では、環境委員会の児童が主体となり、咲き終えた花から種をとり、翌年にその種から花を育てることに挑戦。また、児童によるカブトムシ観察をきっかけにクラス全体で生態を探究し、地域の協力を得て幼虫を持ち帰り、観察と飼育を開始。児童の自主性を尊重し、活動に取り組む。

### 【横浜環境活動賞を受賞して】

この度の受賞は、環境活動に取り組む児童にとって大きな励みとなりました。これからも、子供たちが主体となって学校や地域が花いっぱいになるように活動を続けるとともに地域の自然を大切にしていきます。



児童一人一人が一鉢の花を大切に育てています。



地域のたい肥置き場からカブトムシの幼虫をいただき、飼育しながらその生態を調べました。

第 28 回横浜環境活動賞 事例集

令和 3 年 6 月発行

横浜市 環境創造局 政策課

T E L : 045-671-2484      F A X : 045-550-4093

E m a i l : ks-tayou@city.yokohama.jp

